

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名		岡山県立玉野高等学校		
実践者等		大坂 秀樹	実践日	令和4年1学期
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		地理歴史科「歴史総合」		
対象生徒(学年等)		令和4年度入学1年次生全生徒(4クラス)		
育成を目指す資質・能力		<input checked="" type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input checked="" type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input checked="" type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input type="checkbox"/> 思考やデータの可視化		
		<input checked="" type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 思考を促す活用		
		<input checked="" type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化や省力化		
		<input type="checkbox"/> その他()		
家庭学習		<input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着		

実践の内容

- 40名のクラスを、5人ずつ8つの班に分ける。
- 8つの班に大まかな「研究範囲」を与え、その中で5つの「研究テーマ」を設定する。(例「朝貢と冊封」「華僑」「ムガル帝国」「渋沢栄一」「産業革命」「フランス革命」等)
- 1人一つの「研究テーマ」を担当するが、班長は全体を俯瞰し、班員は協力し合ってそのテーマを調査し、Jamboardにまとめる。(共有がかかっているため、他の班や他のクラスのJamboardも参照できる。)
- 調査の方法(手段・資料)は教科書を基本とするが、ネット検索やYouTube等の動画を参照する。
- 1時間に2人程度が自分のChromebookからJamboardの画面をChromecastにて前方スクリーンに投影し、「発表」を行う。(5~10分程度)
- 生徒の「発表」後、教員が指導・助言、追加講義を行う。
- 特に優れた発表者に対しては、+5点を目標に「課題点」に加点する。(「主体的に取り組む態度」の評価に利用)
- 一班5人の発表が終わったところで、Chromebookを使いGoogleフォームのテストモードで小テストを行う。(全5問=10点満点 「知識・技能」の評価に利用)



定期考査では発表を通じて培われた知識を問うとともに、「発表者の中で最も優れた発表を行ったと思う人を挙げ、どのようなところがよかったかを記せ。」という問題を設定。評価数に応じて「課題点」に加点する。(「思考・判断・表現」の評価に利用)

【本時と家庭学習との連動】

・実施なし